

町民と結ぶ架け橋

N0137 令和6年9月1日

教育委員会だより

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

## 社会教育『知育事業』

夏休みスキルアップスクールに

小学生22名と高校生ボランティア14名が参加

○7月22日・23日に開催しました。この事業の大きなねらいは、学習の振り返りのきっかけづくりと支援する高校生の社会貢献の場です。

○感想文から、その目的達成が小学生と高校生の声から知ることができました。

### 参加して感じたこと (敬称略)

#### 四回目のスキルアップスクール参加

えりも小3年 粕谷 要

ぼくは1学期に学習したわり算の筆算で、筆算の手順を覚えることが難しく、自分から勉強する気持ちがあまりありませんでした。

でも、スキルアップスクールで高校生がいて、教えてくれたり、計算ミスにきづいて教えてくれたりしたので、計算の仕方を完ぺきに覚えることができました。おかげで夏休みの宿題をなやまずに自分で進めることができました。苦手をへらすことができたので、来年も前向きに参加したいです。

## 小学生と高校生で一生の思い出



### 高校生の皆さんに教えてもらいよかった

えりも小6年 三谷 優菜

私がスキルアップスクールに行って、特によかったと思うのは、高校生の皆さんに勉強の分からない所を中心に教えてもらえたことです。

答えが分からない問題も、やり方をていねいに教えてもらったので、とてもためになりました。これからも、高校生から教えてもらったことを大事にがんばりたいと思います。

### とてもためになった

えりも小6年 大場 葵

私は、スキルアップスクールで毎年学年によってちがう勉強内容ですが、高校生の方々と交流しながらの勉強はとてもためになると感じています。それに、勉強後、バターを作ったり、ホットドックを焼いたりというイベントも魅力的に感じます。

私は来年は参加できず、とても残念です。ですがこういった長期休み期間にあるイベントはえりも町以外でも広まればよいと思いました。



お兄さん、お姉さんから教えてもらおう児童

2024/07/31 11:00

### 教えることへの苦手意識を克服

えりも高等学校2年 平野 詩織

私は今回初めてボランティアに参加しました。最初は小学生に勉強を教えられるのかな、コミュニケーションが取れるのかなと不安でしたが、いざやってみると小学生の子供たちが沢山話しかけてきてくれて、とてもやりやすかったです。そして、苦手意識のあった勉強を教えることも今回のボランティアで苦手意識がなくなり、とても自分の力になった二日間でした。なので来年も参加したいなと思います。二日間ありがとうございました。

### 小学生の素直さに感激

えりも高等学校3年 三戸 菜緒

三年間参加させていただいて改めて感じたことは、子供たちの素直さです。

分からないところがあると、恥ずかしがらずに、しっかりと伝えてくれたり、感想をたくさん伝えてくれたりと、小学生ならではの素直さを感じることができました。この素直さを大人になっても忘れずに過ごしてほしいです。良い経験をありがとうございました。

前号で掲載できなかった えりも岬小  
立腰チャンピオン

渡部 櫻子、福嶋 結愛

家庭学習チャンピオン

菊地 恋羽、宮崎 玲奈 敬称略



### 家庭学習チャンピオン

えりも岬小5年 宮崎玲奈

私は、目標の60分を達成できるように心がけ、そして、誰が見ても見やすいように書くことを意識しています。

2学期の家庭学習でがんばりたいことは、授業で習ったことをしっかりノートにまとめることです。学校のノートよりも見やすく書いて復習したいです。

○玲奈さんの考えは、とても立派な考えだと思います。えりもの児童が目標を持ち、取り組むことを応援しています。

えりも岬小で職員が学習サポートを応援  
～他の学校も同じように取り組んでいます～



○えりも岬小では、3日間の夏休み学習サポートを職員総出で行なっていました。

○この取組は、町内の全ての学校で計画的に行われ、そこでは自主的に子供たちが参加して、学習の振り返りをしています。



### 今、求められる幼と小の接続

幼児教育施設と小学校との子供たちの交流  
は入学後の生活に大切



○これまで町内全体で組織的に取り組むことが難しかった小学校と幼児教育施設との交流を3年前から計画的に行なっています。○今年度は、事業としての取組の3年目で最終年度です。

○写真は、7月4日「幼・保・小の交流会」として、光の園幼稚園と中央保育所の年長児、笛舞小とえりも小の1年生が交流を持っている様子です。

○このような交流の機会は、これからの教育の場で、一層、重要になってきます。